

インベーダーから仲間を助けよう

教科・場面

道徳

授業・実践のねらい

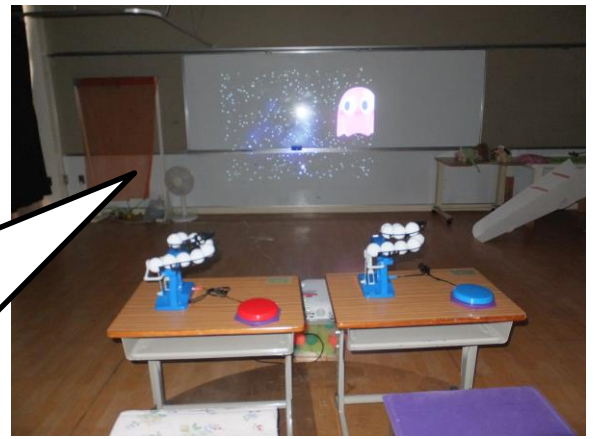
- ・ 友だちと協力して取り組む。
- ・ 多様な刺激で感覚に働きかけを行う。

対象の児童・生徒

・ トロッコグループ（国語・算数、道徳）
道徳の年間目標：身近な人々と協力し、助け合う態度を身につける。
※グループでは年間通して、音や光の刺激の変化に気づいたり、注意を向けたりする活動をねらいとして多く取り組んでいます。

教材・教具

ボールプール下の円板、iPad
ゆらゆら椅子、プロジェクター
ピッチングマシン&スイッチ



工夫したところ

- ・ iPad で、インベーダーが動くようにアニメーションを作成しました。
- ・ 某有名テーマパークのアトラクションの様な「その世界への没入感」が出るように色んな刺激を組み合わせました。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・ インベーダーが初めに、仲間（ぬいぐるみ）を連れ去るので、それを助けにいきます。
- ・ 児童といっしょに、ゆらゆら椅子に座り、児童がスイッチを操作します。STがiPad操作を行ったり、円板を動かして揺れを与えたりします。ゆらゆら椅子は二つ並べることができるので、友だちとペアになって取り組みます。
- ・ アトラクションみたいに、乗り物に乗り込み、友だちと協力しながらシューティングできたら活動への没入感が高まるのではないかと考えました。
- ・ インベーダーを倒したあとは、友だちと仲間（ぬいぐるみ）を引き寄せてレスキュー成功！

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ 児童それぞれで、ピッチングマシンであったり、前の映像（反射して天井を見ることも）であったり、スイッチを押す感触であったり、多様な刺激に注意を向けそれを感じようとしていた。
- ・ 和らぎの児童1名もスクーリングのときに体験をすることができた。